

まんざい

旭市立萬歳小学校
平成29年1月25日
No.9

《学校教育目標》
つよく おおしく たくましく
ともに高め合う
萬歳っ子の育成

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。子ども達が楽しみにしていた冬休みもあっという間に終わり、始業式には全員元気に登校してきました。この冬休みは、比較的穏やかな気候が続き、初詣など外出するのには適したように思います。年のはじめの天候と同じように今年も平和で大きな自然災害などが起きない穏やかな年になるよう願っております。また、子ども達一人一人にとって飛躍の一年となるように職員一同、精一杯がんばっていく所存ですので、よろしくお願ひいたします。

【校長室より】

ほめ方の工夫

最近、ある保護者の方から「子どもをほめるのは難しい。欠点ばかりが目について・・・」という声を聞きました。教師も親も、子どもに「こうあってほしい」と期待をもっているので、子どもがその期待にそぐわないと当然ほめることは少なくなり、欠点ばかりが目につくようになります。確かに欠点を直すことは大切です。しかし、欠点ばかり指摘され続けたら「自分にもいいところはあるのに」、「自分のことを分かってくれない」と反発や不信感をもち、自信もなくなってしまふでしょう。欠点は「その子らしさ」の特徴で、見方を変えれば実は長所になると考えてみると、子どもに対する感じ方も言い方も違ってくると思います。

例えば、子どもに「おまえは気が小さい。男の子なんだから、もっと堂々としなさい。」とストレートに言うよりも、「お前は何でもよく考えてから行動する慎重タイプだね。でも、よく考えた後は堂々としたらいいよ。」と言った方が効果的です。また、「お前は本当に集中力がないんだね。もっと落ち着いて勉強しなさい。」と言いたいところを、「お前は、いつも新しいことを考えているんだね。だから10分と同じことができないのかもしれない。だから5分だけでいいから集中してやってみたらどうかな。」と言えば、子どもは5分くらいなら頑張るかもしれません。

親や教師が欠点を長所に見てやるというポジティブな思考が、子どもたちに何でも挑戦する勇気や意欲、そして自信を与えるのではないのでしょうか。

校長：木村 仁

避難訓練 高川系東

1月11日（水）に消防署の方に来ていただいた避難訓練を実施しました。

3. 11など大きな自然災害の教訓から本校では、毎月ワンポイント避難訓練を実施しています。本校の児童は何事にも真面目に取り組むので、毎回真剣な態度で訓練を実施しております。しかし、人間には慣れがつきものです。同じことを繰り返しているとどこかに気の緩みやマンネリ化が生じてきます。そういった意味で今回は消防署の方に来ていただいた避難訓練は新たな気持ちで子どもも職員も臨むことができたのではないかと思います。当日は、避難後は、消火器の使い方を実施指導して下さったり、ポンプ車から実際に放水している様子を見せて下さったりしました。また、消防車2台と救急車1台をもってきていただき、実際に見学させていただきました。この冬にも糸魚川市で大きな火災があったばかりです。みんなが気を付けて災害を無くしていこうとする意識を高めるよい機会となりました。



薬物乱用防止教室

1月17日（火）薬物乱用防止教室が開催されました。昨年は、大物元スポーツ選手や大物歌手が薬物を乱用し、逮捕されるといったショッキングな報道がありました。われわれの身近なところにも薬物問題



が潜んでいるのかもしれませんが。

危険ドラッグに対する正しい知識をもつことはもちろん大切ですが、薬の本来のもっている有用性を認識することも、また大切なことと思います。今回は、講師を銚子にある千葉科学大学の准教授大高泰靖先生に務めていただき、大学生の方3名も補助員として来ていただきました。開催にあたって関係保護者の方にも参観を呼びかけたところ9名の保護者の方が当日授業を参観していただきました。



薬の有用性からタバコやお酒の依存症、覚せい剤・麻薬・危険ドラッグなどの強い依存性のある「悪い薬」について分かりやすく説明していただきました。また、お酒に酔った状態の疑似体験やタバコに含まれるタールの量を視覚的にとらえることができました。身近に潜む危険な薬物に対する認識を高めることができました。

小学生期から正しい知識をもって薬を有効に使うていくことが大切であることを再認識することができました。

芸術鑑賞教室「オペレッタ劇団ともしび」公演

1月18日(水)に芸術鑑賞教室が開催されました。今年、「オペレッタ劇団ともしび」による公演を実施しました。この劇団名を聞いて「あれ?」と思われた方は、流石です。その昔どこかで聞いたことがあるような……。公演後に尋ねてみたところ、新宿のうたごえ喫茶ともしびが母体とのことでした。うたごえ喫茶とは、「リーダーの音頭のもと、店内の客と一緒に歌を歌うことを主目的とし、伴奏はピアノやアコーディオンのほか、大きな店では生バンドも入っていた。歌はロシア民謡、唱歌、童謡、労働歌、反戦歌、歌謡曲など。」が歌われ、さとう宗幸や上条恒彦のようにプロの歌手としてデビューした者もいた、とのことです。(ウィキペディアより)



本校での公演当日には、20名近くの保護者の方も参観していただきました。公演の第一部では「むかしこばなし・伝統遊び・わらべ歌」等を披露してくれました。劇団の皆様の声量とハーモニーがすばらしかったとの感想をもった児童が多かったようです。第二部はオペレッタ「きつねの水あめ」を上演していただきました。一休さんでおなじみの狂言「ぶす」を下敷きに、だます人だまされる人をおもしろおかしくオペラ風に仕上げた作品を上演していただきました。

「ぶす」のストーリーのおもしろさを低学年の児童は理解しづらかったかもしれませんが、生の太鼓などの伴奏にのせて滑稽に演じられる劇に、日常の学校生活では味わえない体験ができたことと思います。



2月6日(月)には、なわとび名人を迎えてのなわとびのパフォーマンスと各学年のなわとび指導を行っていただきました。申し込んでいなくても当日の参観でもかまいませんので、多くの方の参観をお待ちしております。

一輪車を寄贈していただきました

干潟ライオンズクラブの皆様から一輪車を4台寄贈していただきました。低学年から高学年まで乗れるようにサイズが異なるものを購入させていただきました。子どもは、2時間目終了後の業間休みや昼休みに練習しています。休み時間のグラウンドでの運動遊びの一つとして活用させていただいております。ありがとうございました。



職業体験(6年生)

6年生は、1月25日(水)ゆめ・仕事ぴったりに体験を実施しました。これは、「社会的に問題となっている職業の選択・決定を先送りにするモラトリアム傾向やフリーター志向の広がり、ニートの増加などに対応するため小学校期から望ましい勤労観、職業観の育成や、自己の将来に夢や希望を抱き、その実現を目指す意欲の高揚を図ること」を目的として実施しているものです。国や千葉県、旭市の重点的施策の1つとしても取り上げられています。



今年、「まんざい保育所」「寺嶋歯科医院」「佐藤製作所」「ダッツノ」「まえ田」の5個所で体験させていただきました。6年生は、10名しかいないので、1個所につき2名ずつになります。あまり多くの人数で参加すると友だちを頼ってしまうことがあります。自立への1つの試みとして少人数での参加となりました。また、小学校では、学校周辺の事業所を中心に実施していますが、これから中学校、高等学校と進学するにつれて広い範囲から体験場所を選ぶことになると思います。

職業の大変さだけでなく、よさや喜び、やりがいなども追々味わえるとよいと思っております。ご協力いただきました事業所の皆様、ありがとうございました。